



老々介護ですが、少し明かりが見えてきました。



利用者さんがずっと立ち上がった。感激！

介助ってしんどいもの？
寝たきり、認知症は
変わらないもの？

人が本来持っている力を引き出すこと
で、介助する人もされる人も、イキ
イキと幸せに……それが福辺流。

福辺節子(ふくべせつこ)

一般社団法人 Natural being
代表理事
医科学修士 理学療法士
鍼灸師 介護支援専門員
厚生労働省老健局非常勤参与
(介護ロボット開発・普及担当)
新潟医療福祉大学非常勤講師
・介助の達人として、NHK「ためしてガッ
テン」やNHK Eテレ「楽ラクワンポイント
介護」に出演。



最期まで自分らしく 生きるために

～いま私が受けたい介助～

介助を、もっと楽に、もっと楽しく……

『力と意欲を引き出す』介助術

実践報告会

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業



本人の思いが、いちばん。

力ずくの介護はつくづくダメだと反省。



市民
講座

参加無料

どなたでもお気軽に

要申込み(定員約50名)

- ◎ 福辺流の紹介
- ◎ 事例発表(17ケース)
福辺流を実践されている方による、
貴重な体験談
- ◎ 実技実習
福辺流のポイントをわかりやすく

6.20(日)

10:00～16:30
(受付9:45)

● 途中入場・退場自由です

会場: ドーンセンター

(大阪府男女共同参画・青少年センター)
大阪メトロ・京阪電車「天満橋」から5分
→裏面に地図

会場に来られない方は

リモートでのご参加も

市民講座 参加申込について

参加ご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上FAXしてください。
 コロナ禍の折、会場定員に限りがありますので、事前のお申し込みをお願いいたします。
 ご希望の方には、リモートでの参加もしていただけます。

開催日／スケジュール

2021年 6月20日（日）

【午前の部】

- ・事例発表
- ・介助実技デモ

【午後の部】

- ・事例発表
- ・質問

事例発表の例

- ・95歳 要介護4のおばあちゃんのひとり暮らしを支える。
- ・要介護4 寝たきりになった93歳の父が2ヶ月で自分でお風呂に入れるようになるまで。
- ・要介護5 介護拒否の母を施設から引き取り、2人暮らしを始める。
- ・左半身マヒのご主人との生活を、少しでも長く続けられるように援助する。

お申込みはFAX、e-mail、HPから

e-mail mou-ippo@hera.eonet.ne.jp

HP <http://moippo.org>

会場

ドーンセンター

（大阪府立男女共同参画・青少年センター）
 〒540-0008
 大阪府大阪市中央区大手前1丁目3-49

- 京阪「天満橋」駅、Osaka Metro（旧大阪市営地下鉄）谷町線「天満橋」駅①番出入口から東へ約350m。
- JR東西線「大阪城北詰」駅下車。②号出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。
- 大阪シティバス「京阪東口」からすぐ。



申込書 (FAX 06-7492-1397)

お名前			連絡先電話番号	
住所	〒			
メールアドレス				
参加方法	来場 ・ リモート （どちらかに、又は両方に○）			
参加希望	午前 ・ 午後 （どちらかに、又は両方に○）			

お問い合わせ 一般社団法人 白新会 Natural being Tel & Fax 06(7492)1397